

令和7年度にいただいたご意見・回答

日付	分野	こども・子育て
1月24日	ご意見	5歳児健診が始まったことにより、療育希望者が爆増し、放デイ、療育施設はどこもキャンセル待ち、契約できない、既存の利用者が弾きだされる事態になっています。 私の子どもも、来年度からの利用を断られました。支援が必要であるにもかかわらずです。 子育て、福祉に力を入れている体を作るのに必死で、いたずらに不安を煽り、現場、利用者のことを全く考えられていない政策に憤りを感じます。 受け皿も対策もなく、療育してくださいで放り出すのなんて誰でもできます。受け皿を用意して、その後まで考えてこそその支援ではないのでしょうか？これでは支援ではありません。支援しているふりです。 現在、希望する療育がうけられない子どもたちがたくさんいる現状、対策をどうお考えでしょうか？ 子育て、福祉に力を入れるのなら徹底的にやってほしいです。
	回答	昨年4月から実施しました5歳児健診により、未就学児が通う児童発達支援の利用者が増加していることは、市としても把握しているところです。 現在、市内の児童発達支援事業所においては、利用定員に達していることから新規の利用をお断りしている事業所はありますが、市の中心部にあるあゆみ学園や市が直接運営するいきいき広場・おひさま教室・すくすく教室には定員に空きがあり、新規利用を受け入れできる状況にありますので、ご相談ください。 なお、今年4月以降は5歳児健診の実施に伴い、支援が必要な児童が増加することを想定し、市が直接運営する事業所の受入れを増やして対応するとともに、5歳児の発達課題に合わせた新たな事業展開（健診の事後指導体制の強化）も行っていく予定です。 支援の必要な児童が児童発達支援を利用できるよう引き続き努力していきますので、今後もお気づきの点があればご意見ください。よろしくお願いいたします。
2月17日	ご意見	いつも市の子育て支援事業にご尽力いただきありがとうございます。 先日、高山市で開催された赤ちゃん教室に参加させていただきました。 その際、参加者からの「授乳中に乳首で遊ぶようになった場合の対応」についての質問に対し、助産師の方が「窒息するまで抑えて、苦しい思いをさせてからダメと言う」といった趣旨の回答をされているのが聞こえてきました。 私自身、その発言に強い違和感と不安を感じました。もしその言葉をそのまま受け取った保護者の方が実践してしまった場合、赤ちゃんの安全面において重大なリスクが生じるのではないかと心配しております。 子育て中の保護者にとって、専門職の方の言葉は大きな影響力があります。安心して参加できる場であってほしいと強く願っております。 今後、指導内容の安全性や表現についてご確認・ご配慮いただけますと幸いです。
	回答	この度は赤ちゃん教室にご参加いただき、ありがとうございます。 大切なお子様の成長を支援する場において、不快な思いや不安を感じさせる言動があったことに対し、深くお詫び申し上げます。 今後は、このように子育て中の保護者様が不安や疑問を抱かれることがないよう、全職員に対して指導を徹底いたします。 また、全員が専門職としての自覚を持ち、安心して参加できる場を提供し、健やかなお子様の成長を支援するために尽力してまいります。 この度は誠に申し訳ございませんでした。

	ご意見	支所に公衆電話がほしいです。 学校帰りに直接勉強をしに来たときに、スマホがなくて連絡できないし、わざわざ駅に行くのも大変なので支所に設置してほしいです。 頼めばかけることもできると聞いたんですけど、言いにくいのでお願いしたいです。
1月22日	回答	いつも久々野多目的センター（虹流館くぐの）をご利用いただきありがとうございます。 ご提案をいただきセンター内に公衆電話が設置できないか、電話を設置するNTTへ確認したところ、携帯電話が普及しており、利用が限られるため全国的に削減していく方向であり、新たに設置はしないとのことでした。 なお、ご家族などに連絡されたい時は、久々野支所内の電話をご利用できます。 貼紙などの案内も掲示しますので、遠慮なくお気軽にお声がけください。 中学生の皆さんは、久々野のまちづくりの大切な人材です。引き続き、積極的なご提案をお願いできればうれしく思いますし、私たち支所職員もより良いサービスがお届けできるよう努めてまいります。